

ハイブリッドおよびマルチクラウド環境における堅牢なクリティカルネットワークサービスの重要性

企業は、コストを削減しながらネットワークの俊敏性と可用性を強化するために、プライベート、パブリック、ハイブリッド、マルチクラウドの各環境を展開しています。大規模なマルチクラウド戦略を採用することで、クラウド移行の過程での複雑さと矛盾がさらに増大しています。マルチクラウドの導入では、リフトアンドシフトとリファクタリングへの取り組みで、単一の堅牢なクリティカルネットワークサービスのセットを検討することがより重要となります。

今こそクラウド導入のタイミング

ハイブリッドクラウドとマルチクラウドの採用が勢いを増しています。企業はクラウドプラットフォームを活用して弾力性を強化し、規制を遵守し、高度な機械学習分析などの特殊な機能にアクセスしています。組織は、合併や買収、シャドーITの使用、またはベンダーロックインの回避により、ハイブリッドまたはマルチクラウドの環境に置かれています。

企業がクラウドへの移行に着手するにつれ、複雑さと課題が伴われ、ガイダンスと専門知識が必要になります。組織がクラウドへの移行を決定する場合、リフトアンドシフト、リファクタリング、クラウドネイティブという3つのアプローチがあります。

- **リフトアンドシフト**は、既存のアプリケーションを最小限の変更でクラウドに移行する場合には最も中断が少ないアプローチです。既存のアプリケーションは、レガシーでモノリシックな性質を持っている場合が多く、既存のオンプレミス環境から新しいクラウド環境に移行されます。導入環境のみ
- **リファクタリング**は、バックアップなどのクラウドサービスを活用するために、データフローや認証などの既存のアプリケーションの特定の側面を再構築し、最適化する混合アプローチです。
- **クラウドネイティブ・アプリケーション**は、マイクロサービスアーキテクチャとクラウドコンピューティング・デリバリモデルを最大限に活用し、企業がオンデマンドで容量を拡張し、開発者が最新のツールやアプリケーション・サービスに迅速にアクセスできるようにします。

異なるシステムが混在する環境における課題への対処

組織でのクラウドコンピューティングの導入が進むにつれて、インフラストラクチャの管理とセキュリティ保護における成熟度や直面する課題も変化する可能性があります。オンプレミスのデータセンターとクラウドの取り組み全体で、単一の共通で堅牢なクリティカルネットワークサービスのセットを使用して、リフトアンドシフトまたはリファクタリングの取り組みを行うことで、クラウドの導入が簡素化されます。

既存のデータセンターサービスに加えてクラウドプロバイダーのクリティカルネットワークサービスを導入すると、断片的な組織と情報のサイロ化が生じます。クラウドサービスプロバイダーは、独自の運用モデルと命名規則を使用します。データセンターとクラウド間の差異により、コストのかかる非効率が発生し、最悪の場合、機能停止やセキュリティ侵害が発生する可能性があります。したがって、クラウドへの移行を簡素化するには、命名規則と運用モデルの一貫性を提供するクリティカルネットワークサービスの共通したセットをクラウドとオンプレミスのデータセンターに展開することが重要です。

クラウドプロバイダーのネットワークサービスを使用すると、堅牢性と信頼性が損なわれる可能性があります。多くの場合、クラウドプロバイダーが提供するクリティカルネットワークサービスには、企業全体の命名規則とアドレスの割り当てに必要なユーザーとサービスの属性の選択の自由度が欠けています。さらに、クリティカルネットワークサービス自体へのより高い可用性を提供するための柔軟性が限られており、ハイブリッドまたはマルチクラウド展開の信頼性に影響を与える可能性があります。

ハイブリッドおよびマルチクラウド環境向けのINFOBLOXソリューション

異なる複数のシステムを1つのシステムに置き換える 堅牢なソリューション

Infobloxは、ハイブリッドとマルチクラウド環境におけるリフトアンドシフトやリファクタリングの取り組みにおける可視性を一元化し、自動化を進め、制御を強化します。これにより、組織や情報のサイロ化の非効率性が解消されます。Infobloxソリューションは、データセンター、コロケーション施設、クラウドサービスプロバイダー、支店全体のネットワーク上にあるものをリアルタイムに一覧化するための共通の命名規則と単一の運用モデルを確立します。このアプローチにより、トラブルシューティングの時間が短縮され、人的エラーが最小限に抑えられ、稼働時間が改善されます。共通の命名規則と運用モデルを使用すると、分散エンタープライズ全体に一貫したポリシーを適用することが容易になり、監査やコンプライアンスでの失敗のリスクが軽減されます。

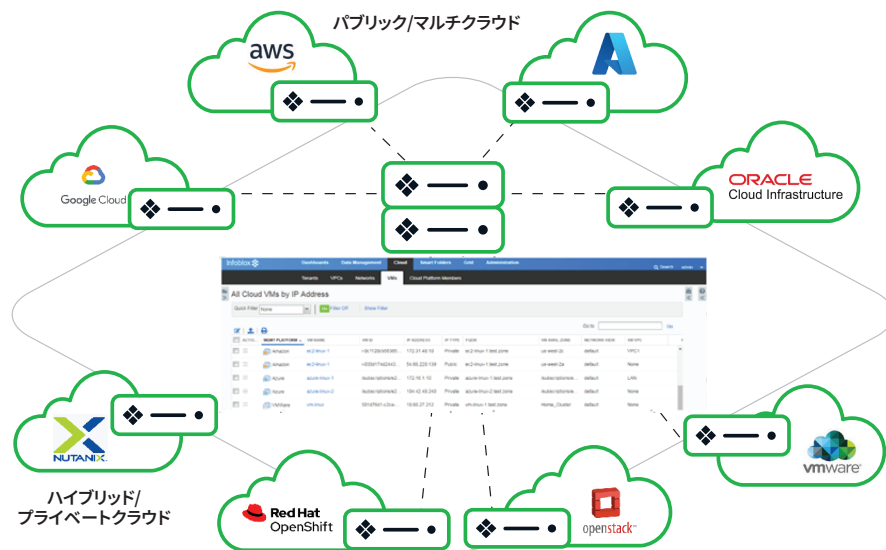


図1: Infobloxは、ハイブリッドおよびマルチクラウドの展開に単一の制御レベルを提供します。

“オンプレミスとクラウドの両方

“オンプレミスとクラウドの両方にいる限り、ワークステーションからオンプレミスのDNSを名前解決する必要がある場合、複雑なDNSセットアップが必要になります。”

ワークロードをAWSからGCPに移行することを考えると、それは、ある言語から別の言語に翻訳する必要があることと同じことです。」

クラウドエンジニアリング兼アーキテクト
金融業界のお客様

“Infobloxソリューションは、単一の制御レベル、リアルタイムでのデータ検出と可視性、継続的なM&Aのためのスケーラブルな機能性を提供してくれました。コスト削減と自動化のために、最新のハイブリッドなマルチクラウドアーキテクチャが必要でした。Infobloxは、全国の法人と小売業のお客様に対するカスタマーエクスペリエンスを向上させる後押しをしてくれました。”

ITディレクター、世界をリードするコーポレート兼リテール銀行

サマリー: INFOBLOXのソリューションとその他のシステムとの比較

変更前: 異なる複数のシステム	変更後: Infoblox
断片化された可視性 <ul style="list-style-type: none"> • トラブルシューティングに要する時間が増加 • 資産一覧をリアルタイムで表示できないことで監査上のリスクが発生 • データ流出や偽ドメインなどのセキュリティ対策におけるギャップ 	完全な可視性 <ul style="list-style-type: none"> • トラブルシューティングと保守にかかる運用コストの削減 • 監査とコンプライアンスのリスクを軽減 • セキュリティギャップを埋め、脅威を早期にブロックし、修復を促進
制約のある自動化 <ul style="list-style-type: none"> • サポートチケットの大量発行と機能停止の可能性を引き起こすサイロ化 • 難易度の高いマルチクラウド環境でのクリティカルサービスの管理 	自動化の強化 <ul style="list-style-type: none"> • イノベーションをスピードアップ • 設定ミスによる機能停止の可能性を排除 • ネットワーク停止によるコスト増加を回避
不適切な管理 <ul style="list-style-type: none"> • 組織と情報のサイロ化 • 手動プロセスとトラブルチケットの広範な使用 	シームレスな制御 <ul style="list-style-type: none"> • サイロ間の非効率な引き継ぎを大幅に削減 • 一貫性のあるポリシーで制御を簡素化

結論

クラウドの導入が増え続けるにつれて、組織は様々なレベルの成熟度に直面し、インフラストラクチャの管理とセキュリティ保護において特有の課題に直面しています。クラウドサービスプロバイダーごとの異なる運用モデルや定まった範囲での利用により、組織は分断され、情報はサイロ化されていき、運用が非効率となり、潜在的な機能停止、セキュリティ侵害へとつながっていきます。堅牢なクリティカルネットワークサービスを実装し、オンプレミスデータセンターとクラウドの間で命名規則と運用モデルの一貫性を維持することは、リフトアンドシフトとリファクタリングの取り組みを簡素化するために重要です。クリティカルネットワークサービスの強力な基盤への投資は、組織がハイブリッドクラウドとマルチクラウド導入の複雑さを乗り越え、回復力を強化し、潜在的な侵害や中断から保護するために最も重要です。



Infobloxはネットワークとセキュリティを統合して、比類のないパフォーマンスと保護を提供します。Fortune 100企業や新興企業から高く信頼され、ネットワークが誰に、そして何に接続されているのかをリアルタイムで可視化し制御することで、組織は迅速に稼働でき、脅威を早期に検知・対処できます。

Infoblox株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山2-26-37
VORT外苑前13F

03-5772-7211
www.infoblox.com